

協同組織の魅力

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2026.2.24

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



協同組織

協同組織(協同組合)とは、共通の目的を持つ人々が自発的に出資・運営し、相互扶助(助け合い)を目的とする非営利法人を指す。組合員が「出資者・利用者・運営者」の三役を担い、1人1票の民主的な運営を特徴とする。金融機関としては、信用金庫や信用組合、農協などが代表的。

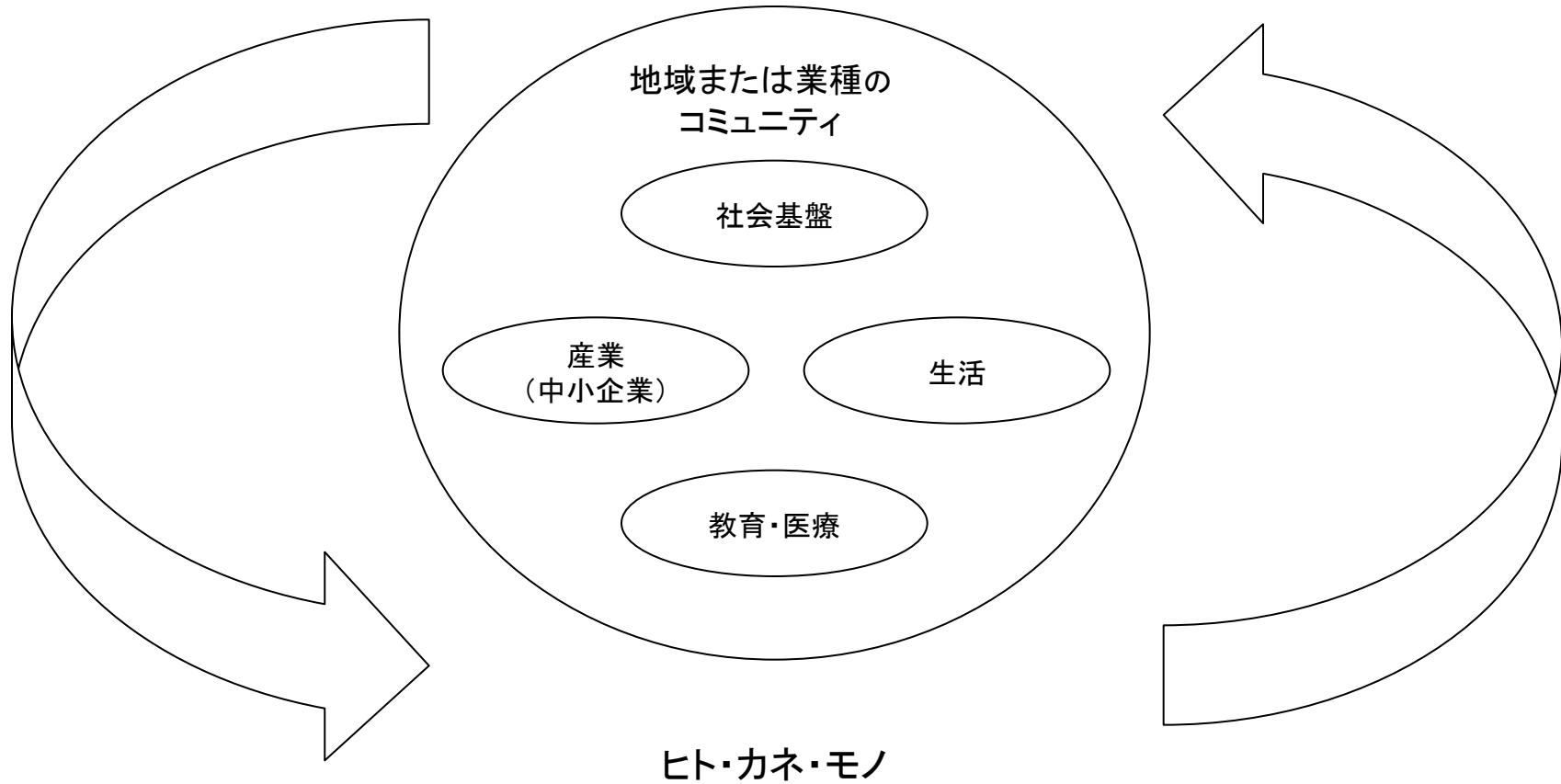
金融排除

収益事業を営む金融機関の立場からみたとき、採算が合わないと評価されてしまう顧客層に対して、金融機能が提供されない状況をいう。協働組織金融は金融排除されていた人がいて、それらの人が共同して相互扶助のために作ったものである。相互扶助原理は、共同体を防衛するために、内部から脱落者をださないように機能するとき、真価を発揮するが、それが可能であるためには、共同体としての強固な結びつきが必要である。共同体の本領は、自他の区別がないところにあり、仲間の苦難を自分のこととして解決するところにある。融資においては、債務者の状況を把握することが決定的に重要だが、銀行は、債務者の内部に入ることとはできないため外部情報で判断するほかないが、協働組織金融機関の場合は、理念的に債務者と債権者は同一であるため、内部的な評価が可能になる面がある。

地方創生

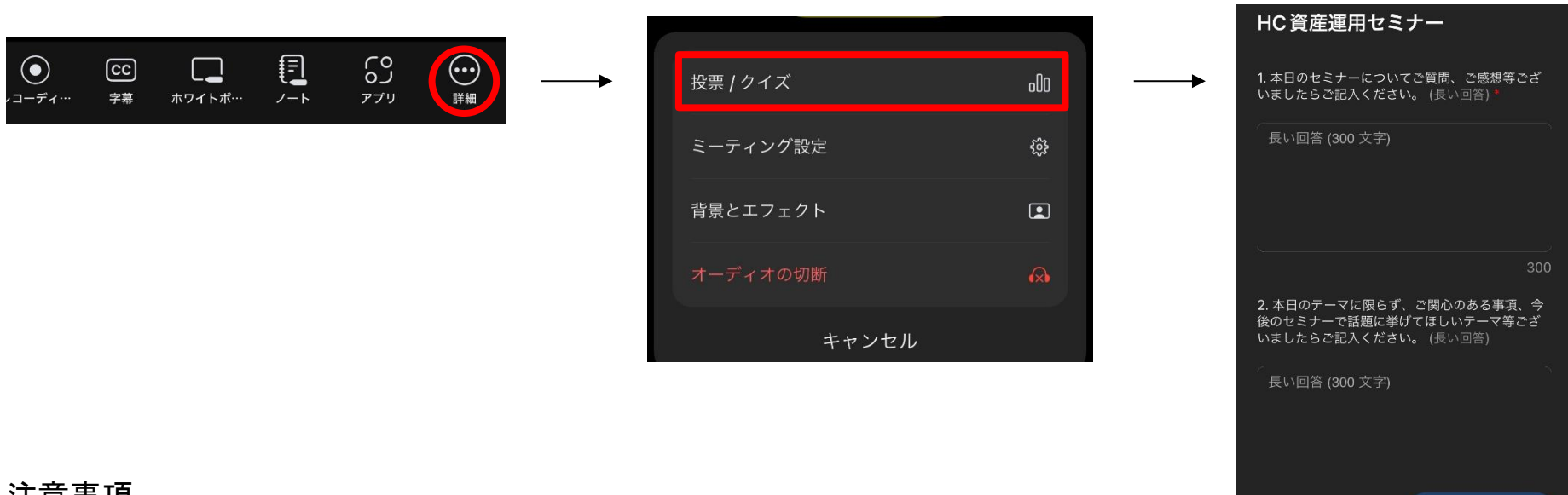
創生という用語が使われているように、現にある地方の活性化ではなく、新たな地域経済圏の構築による地方の枠組みの抜本的変更のことである。つまり、共同体が衰退に向かっているところに、新たに価値を共有する共同体を作ることであり、単に統合を進めるということではない。信用金庫や信用組合が近隣同士で統合してきた過去の再編とは一線を画する。共同体原理が働かなくなるから、地方と産業が弱くなるのならば、共同体原理が働くように、地方と産業の組換えを行えばいいという考え方が地方創生の理念である。そのとき中核的役割を演じるのは、協働組織金融機関すなわち信用金庫と信用組合でなければならない。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>



講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。